

■ 共 催：社会福祉法人愛悠ものの会 ほいくえんものの家・ほいくえんものの家だいち
：NPO法人国際臨床保育研究所

■ 定 員：30名

■ 講座費用：1回 6,000円
お支払い方法：講座開始前に、受付にてお支払いください。

■ 会 場：ひこね市文化プラザ（研修室3） ※第1・2・4回の開催地
〒522-0055 滋賀県彦根市野瀬町187-4 TEL：0749-26-8601
愛悠ものの会 ほいくえんものの家だいち ※第3回の開催地
〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町395-7 TEL：0749-47-5500
※会場が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

■ お問合先：ほいくえんものの家だいち TEL：0749-47-5500／FAX：0749-26-2150
NPO法人国際臨床保育研究所 TEL：0742-40-4051／FAX：0742-40-4049

NPO法人国際臨床保育研究所



※駐車場に関して
両会場ともに駐車場がございますので、お車でお越しいただいてもかまいません。

下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて
0749-26-2150（ほいくえんものの家だいち）まで送信願います。

申込書

希望講座の欄に○を御記入下さい。

第1回 5月13日(日)	第2回 6月17日(日)	第3回 7月16日(祝・月)	第4回 8月26日(日)

ふりがな
受講者名

ご所属

ご住所

電話番号

FAX番号

携帯番号



NPO法人 国際臨床保育研究所
Kid's International Clinical Childcare Center

2018連続保育講座 全4回

これからの保育に必須の専門的な 知識と技能を持つ保育者養成講座

2020年の教育改革は目前です。教科の枠を越えて学校教育の重点を「何を教えるか」から「何ができるようになるか」に転換する教育方法が求められています。テスト直前になって必死に覚えるといった勉強の仕方も同時に大きく見直されます。子どもが課題の発見・解決に向けて主体的、共同的に学ぶ学習方法が進められています。就学前教育においては、アクティブ・ラーニングの芽を育てる、いわゆる子ども自ら遊び自ら学ぶ力を養うための専門的な知識を持った保育者による保育方法が求められています



保育環境の重要性



就学前のアクティブ・ラーニング



にじみ絵の実技



セラピー教具



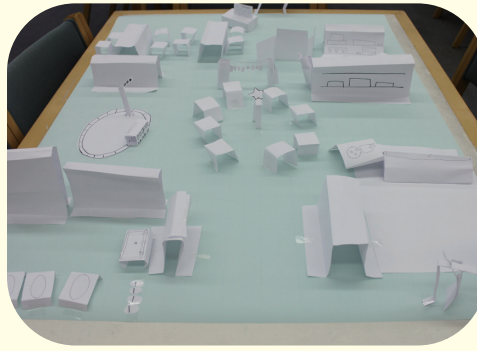
わらべうた

第1回 5/13(日) 場所：ひこね市文化プラザ 研修室3

■10:00～12:00

「子どもの自尊と自律を育てる保育環境」講師:勝山 結夢

オランダやドイツなどの保育室は、遊び(=学び)の機会がお部屋の中にたくさん作られています。ヒトにとって、その環境が安心感や居心地感の良いものでなければその環境にどんな遊びや新しい挑戦があっても吸収しないという理論から新年度初めに保育室のデザインや、環境の見直しをします。先生方の保育室を立体的にデザインします。



■13:15～16:00

「0歳から7歳までの保育環境」講師:西村 久容

発達過程の最も初期にあたる乳児期は、「生命の保持及び情緒の安定」という養護の側面がとくに重要です。これらを正しく理解するためには、乳幼児期の子どもの具体的な発達の理解を深める必要があります。大人(保育者)が、いつ、どこで、どのように環境を構成し、関わっていくのかを現場からの事例を元に分かりやすく講座します。

第2回 6/17(日) 場所：ひこね市文化プラザ 研修室3

■10:00～12:00

「アロマザリング(乳児育児担当制)～保育のシクミをかえる～」講師:勝山 結夢

毎日通ってくる保育室で受け入れられる乳児の75%以上が、不安感を持っているとアネッテ教授(ケルン大学)は報告しています。乳児が安心して遊べる保育環境と、母親以外の大人とどのように愛着形成(担当制)を築くのか、従来の母と子どもの愛着から、保育室の中での乳児と保育士の在り方へ、乳児の特性を考慮された乳児育児担当制保育を学んでいただきます。

■13:15～14:45

「危険因子を見逃さない～[乳児編]保育室の気になる赤ちゃん～」講師:勝山 結夢

準備物：手足が大きい赤ちゃん人形

近年、発達障がい児の増加がアメリカをはじめ先進諸国の保育者の悩みです。発達障がい児の大半が乳児期に発達上のリスクを持っていたということも分かってきただけに、乳児のあそびの観察から発達の課題に気づいてあげる必要があります。それ故に乳児担当保育者は乳児の神経反射運動の知識と発達検査法を身につけると共に、運動発達が未熟な乳児に対する支援を学ぶことが大切です。



■15:00～16:00

「アクティブ・ラーニング～21世紀を生き抜く力～」講師:勝山 結夢

これほどまでに複雑化し、未知の問題に遭遇する可能性のある社会で、それらを解決する能力を子どもにつけてあげる必要があります。従来の一方的に大人から知識の伝達を行う教育法では、これからの生きていく力を身につけてあげることができません。オランダで開発された就学前のアクティブ・ラーニング(ピラミーデ幼児教育法)のしっかりとした理論を交えながらアクティブ・ラーニング(ピラミーデ幼児教育法)を学んでいただきます。



『ピラミーデ幼児教育法』とはこちらから →

全日程 ■12:00-13:15 お昼休憩 ※周辺には飲食店等が少ないため、昼食をご持参されることをお勧めします。

講師紹介

勝山 結夢：(NPO法人国際臨床保育研究所研究員)

故 辻井正(NPO法人国際臨床保育研究所 所長)のもとでピラミーデ幼児教育法やアクティブ・ラーニング、乳児期のCARE(養護)と幼児期の教育が一体化された幼児教育理論やセラピー教具の必要性を学び、これらを基に「おもちゃセラピスト」として、保育や教育の現場での研修、講座を通して支援としてのセラピー教具の普及活動も行う。



第3回 7/16(祝・月) 場所：ほいくえんももの家だいち

■10:00～12:00

「危険因子を見逃さない～セラピー教具は子どもの認知活動にどのように役立つのか～」講師:勝山 結夢

「子どもは物が遠くに行っても、また、一時的に視野から消えても、“そこにあるという保存性の概念”を理解するのに多くの時間を費やす」とセラピー教具考案者メストネック博士はいます。米国の研究で脳のワーキングメモリを活発に使う遊びから知的障がい児のIQが改善されたと報告されています。近年増加が報告されているちょっと気になる子どもへの具体的な支援の一つとしてセラピー教具の背景や与え方と使い方を実際に遊びながら学んでいただきます。



■13:15～16:00

「三原色の魔術～無限大に現れる色彩体験と展開～」講師:西村 久容 準備物：白いタオル

にじみ絵は3原色を基本とし、水分を含んだ画用紙に絵筆で何度も重ね塗りをします。自然色視覚体験や色を混ぜあわせる体験の少ない子どもたちに、この無限大に現れる色彩体験は必須です。実技講座の中では実際に保育の流れから、にじみ絵に展開する方法を、わらべうたや言葉づかい、子どもへのまなざしや関わる姿勢を通して具体的に学んでいただきます。人気講座の一つです。

第4回 8/26(日) 場所：ひこね市文化プラザ 研修室3

■10:00～12:00

「ポートフォリオと保護者プログラム」講師:勝山 結夢

どんなに良い教育法でも、保護者を巻き込まずに展開することが欠けていると意味がありません。またやりっぱなしではなく、振り返りときちんとした評価法がないと正しい子どもの評価が難しくなります。これからは特にエビデンス(理論的根拠と評価)が求められます。ピラミーデ幼児教育法からポートフォリオ評価法の理論と方法及び実際のドイツや日本での保護者との様々な取り組みをご紹介します。保護者プログラムを学んでいただきます。



■13:15～14:15

「対話的読み聞かせ」講師:勝山 結夢

従来の、保育者が淡々と物語を子どもに読み聞かせる読み聞かせと、子どもと読み手である保育者が生き生きとした会話のやり取りを続けながら読み進める“対話的読み聞かせ”の方法がドイツやオランダなどでは導入されています。特に言葉の発達や保育者自身の子どもの観察力の向上などが報告されています。実際に絵本を使って行われた“対話的読み聞かせ”をご紹介します。

■14:30～16:00

「子どもの耳を育てるわらべうた遊び」

部屋を静かに保つ、子どもに聴く力をつける工夫の1つとして、わらべうたやリズム運動遊びがあります。子どもたちの興味や集中力を惹きつける実技です。更に注目されているサークルタイムの取り組みに向けてのヒントが豊富です。西村先生の歌声にいつも皆様うっとりされます。



※講座内容及びスケジュールの変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

西村 久容(ほいくえんももの家・ほいくえんももの家だいち 統括園長)

全人教育に相応しいシュタイナー教育の実践活動では、長年のキャリアがあり、子どもの発達と保育を、医学・教育学・人間学の総合的視点から子どもの教育に正しい就学前教育の理論講義として行う。優れた音声で歌う歌の指導、絵画・音楽全般の芸術指導等を行う。ゲーテアヌム・シュタイナー幼児教育協会認定シュタイナー幼児教育教員課程修了、ピラミーデ教育チューター資格取得。

